

会 議 録

名 称	平成30年度 川口市防災会議
日 時	平成31年2月19日(火) 14時00分～15時15分
会 場	南消防署横曽根分署 3階会議室
出席者	<p>1 防災関係機関(国、県、公共機関) 24名出席 ※ 欠席3名(日本通運(株)川口支店長、東京ガス(株)埼玉支社長、管工事業協同組合理事長)</p> <p>2 自主防災組織・学識経験者 3名出席 ※ 欠席3名(自主防災組織担当部長連絡会座長、自主防災組織女性部員連絡会座長、商工会議所女性会副会長)</p> <p>3 市関係者(市長、両副市長、水道事業管理者、病院事業管理者、常勤監査委員、教育長、消防長、各部長) 29名出席。 ※ 欠席1名(選挙管理委員会事務局長)</p> <p>※ 傍聴者 1名 ※ 出席者名簿(資料参照)</p>
概 要	<p>1 開会</p> <p>2 市長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none">○ 平素より市政運営へご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。○ 阪神・淡路大震災から23年、東日本大震災からまもなく7年、熊本地震からまもなく3年が経過する。○ 今年度に発生した災害を振り返ると、平成30年7月豪雨では、24時間降雨量が690ミリを超える記録的な大雨で死者・行方不明者245名の被害が発生したほか、北海道胆振東部地震では震度7の地震が発生し、死者41名の被害が発生した。なお、平成30年7月豪雨の際には倉敷市に職員17名を、北海道胆振東部地震の際には苫小牧保健所管内に職員9名をそれぞれ派遣している。○ 本市においても、今後いつ大規模災害が発生するのか分からない状況である。こうした中で災害への備えとして、職員を対象とした災害対策本部訓練に鋭意取り組んでいるほか、自助を中心とした在宅避難の啓発に取り組んでいく所存である。○ 今後とも防災・減災対策に取り組んで参るが、行政と関係機関の連携が重要である。忌憚のないご意見を頂くとともに、本市防災力の充実強化について、引続き協力をお願いする。

3 議長の指名 → 会長 奥ノ木市長

4 議事

- (1) 川口市地域防災計画の一部修正（案）について・・・資料1-1
資料1-2

事務局から説明。

修正部分の概要を説明し、資料を机上配布。

告示を行うとともに埼玉県に報告し、修正内容をホームページにアップする旨を説明。

※ 質問・意見等なし

- (2) 平成30年度川口市における災害状況について（報告）・・・資料2
事務局から説明。

※ 質問・意見等なし

- (3) 中核市災害相互応援協定に基づく倉敷市への被災地派遣について（報告）・・・資料3

事務局から説明。

※ 質問・意見等なし

- (4) 平成30年度川口市総合防災訓練について（報告）・・・資料4
事務局から説明。

※ 質問・意見等なし

- (5) 平成31年度川口市総合防災訓練の概要について
事務局から説明。

※ 質問・意見等なし

5 その他

- 2月24日に行われた川口市消防防災フェア2019について
事務局から説明。

※ 質問・意見等なし

6 閉会